

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月29日

東海地区石油業健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	57281
組合名称	東海地区石油業健康保険組合
形態	総合
業種	飲食料品以外の小売業

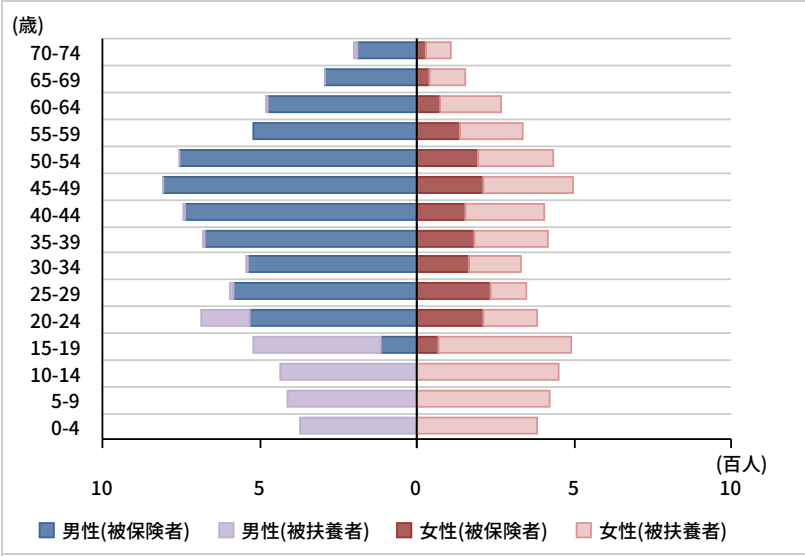
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	7,903名 男性78.6% (平均年齢43.7歳) * 女性21.4% (平均年齢39.5歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	13,478名	-名	-名
適用事業所数	199カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	1,077カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	103‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	14	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	3,600 / 5,654 = 63.7 %	
	被保険者	3,221 / 4,287 = 75.1 %	
	被扶養者	379 / 1,367 = 27.7 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	71 / 915 = 7.8 %	
	被保険者	55 / 877 = 6.3 %	
	被扶養者	16 / 38 = 42.1 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	19,083	2,415	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,254	538	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	21,872	2,768	-	-	-	-
	疾病予防費	72,380	9,159	-	-	-	-
	体育奨励費	350	44	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1,922	243	-	-	-	-
	小計 …a	119,861	15,167	0	-	0	-
経常支出合計 …b	3,985,040	504,244	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	3.01		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	112人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	529人	25～29	584人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	539人	35～39	675人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	737人	45～49	805人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	752人	55～59	522人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	475人	65～69	293人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	190人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	69人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	213人	25～29	232人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	163人	35～39	180人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	157人	45～49	213人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	192人	55～59	136人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	77人	65～69	40人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	30人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	374人	5～9	413人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	436人	15～19	405人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	155人	25～29	14人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	7人	35～39	4人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	6人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	11人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	380人	5～9	422人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	451人	15～19	423人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	172人	25～29	117人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	168人	35～39	233人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	251人	45～49	286人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	239人	55～59	200人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	196人	65～69	114人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	79人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 石油製品の販売を主たる業とする総合健康保険組合。
- 被保険者は主にガソリンスタンド勤務である。
- 加入事業所本社は愛知県内が半数以上ではあるが、勤務地は全国に点在しているため、加入者も全国に点在している。
- 被保険者が50名以上の事業所は約10%、20名以下は約75%の構成となっている。
- 特定健診及び特定保健指導の実施率が目標値に達していない。
- 健診に関する意識づけが不足。
- 動機づけ支援者より積極的支援者の方が倍近く多い。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・特定健診の受診率が低い。
- ・特定保健指導の実施率が低い。
- ・40歳以上の女性被扶養者の健診の受診率が低い。
- ・加入者が全国に点在している。
- ・拠点となる事業場が全国に点在し、かつ1か所あたりの事業場人数が少数である。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	機関誌の配布
保健指導宣伝	保健事業案内・リーフレット・パンフレット・冊子の配布
保健指導宣伝	ジェネリックの利用促進
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	柔整療養費通知
保健指導宣伝	健康年齢通知
保健指導宣伝	健康経営コンソーシアム・健康管理委員会等
疾病予防	感染予防対策事業
疾病予防	家庭用常備薬の斡旋
体育奨励	契約保養所・レジャー施設

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定健康診査事業	全国巡回レディース健診
特定健康診査事業	健保連共同情報処理事業
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	データヘルス関連事業
保健指導宣伝	コラボヘルス
保健指導宣伝	I C T 関連事業
保健指導宣伝	インセンティブ事業
疾病予防	人間ドック
疾病予防	成人病健診
疾病予防	共同巡回健診・全国巡回健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	つよい子キャンペーン
疾病予防	重症化予防等事業
疾病予防	歯科衛生キャンペーン
疾病予防	卒煙サポート事業
疾病予防	電話健康相談窓口
体育奨励	健康ウォーク

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2,8	ホームページ	・法改正や健診等の保健事業をはじめ、加入者に組合事業の理解や意識づけを向上させる。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	423	-	-	-	-
	2,5,8	機関誌の配布	・健診をはじめ、加入者に組合の保健事業等の理解意識づけを向上させる。	全て	男女	0～74	加入者全員	5,105	-	-	-	-
	2	保健事業案内・リーフレット・パンフレット・冊子の配布	・4月に保健事業案内冊子を配布。 ・加入者に理解しやすいものを配布。 ・機関誌の配布時にリーフレット等健診や健康保険組合の事業を周知させる。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	2,050	-	-	-	-
	2,7	ジェネリックの利用促進	・リーフレットやシールを配布し、後発医薬品に対する認知度の向上を図る。 ・ジェネリック差額通知の発送。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1,133	-	-	-	-
	2	医療費通知	・医療費適正化や医療保険制度に対する認識を深める。 ・不正請求の防止。	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1,500	-	-	-	-
	2	柔整療養費通知	・医療費適正化や医療保険制度に対する認識を深める。 ・重複受診を減らす。 ・不正請求の防止。	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	354	-	-	-	-
	2	健康年齢通知	・生活習慣改善の行動変容。	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	2,599	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	1,2	健康経営コンソーシアム・健康管理委員会等		全て	男女	16～(上限なし)	被保険者	920				-
疾病予防	2	感染予防対策事業	・季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症への対策。 ・手指消毒やマスクを事業所に配布。	全て	男女	16～(上限なし)	被保険者	3,201				-
	2	家庭用常備薬の斡旋	・健康管理の意識づけと医療費削減。	全て	男女	16～74	加入者全員	0				-
体育奨励	8	契約保養所・レジャー施設	・健康づくりや保養のため。	全て	男女	0～74	加入者全員	0				-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診	・健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。 ・集合契約の実施。	全て	男女	40～74	基準該当者	16,890				-
	3	全国巡回レディース健診	・40歳以上の女性被扶養者の健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	全て	女性	40～(上限なし)	被扶養者	1,670				-
	8	健保連共同情報処理事業	・健診結果データ管理や特定保健指導の階層化及び国への実績報告システム。	全て	男女	40～74	その他	523				-
特定保健指導事業	2,4	特定保健指導	・生活習慣病の予備軍を減らす。 ・契約健診機関と健診当日の初回面談を実施する。	全て	男女	40～74	基準該当者	4,254				-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
保健指導宣伝	8	データヘルス関連事業	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。 ・事業所レポート	全て	男女	0～(上限なし)	その他	1,980	-	-	-	-
	1,5	コラボヘルス	・健康経営優良法人認定事業所 ・健康宣言事業の参加事業所 ・事業所レポート ・事業所支援	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	750	-	-	-	-
	2,8	ICT関連事業	・ICTを活用した情報提供により、生活習慣の改善や健康づくりへの意識改革。 ・PepUpの登録率向上。	全て	男女	16～(上限なし)	被保険者	1,842	-	-	-	-
	1,2,3,4,5,8	インセンティブ事業	・特定保健指導の実施率を上げるため、保健事業への積極的参加利用を図る。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	3,215	-	-	-	-
疾病予防	3	人間ドック	組合全体の健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	全て	男女	40～74	基準該当者	23,050	-	-	-	-
	3	成人病健診	組合全体の健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	全て	男女	30～74	基準該当者	5,875	-	-	-	-
	2,3,4	共同巡回健診 ・全国巡回健診	・健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	全て	女性	40～74	基準該当者	17,165	-	-	-	-
	2,3,4,8	インフルエンザ予防接種	インフルエンザの予防及び医療費の削減。	全て	男女	0～74	加入者全員	5,000	-	-	-	-
	2,3,5	つよい子キャンペーン	・かぜやむし歯予防、季節流行の蔓延予防と医療費削減。	全て	男女	2～6	基準該当者	1,245	-	-	-	-
	3,4	重症化予防等事業	・健診結果において糖尿病や高血圧症、高脂血症の治療が必要な未受診者の方に受診勧奨通知を送付。	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	220	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	2,3,8	歯科衛生キャンペーン	・医療費削減と健康管理の意識づけ。 ・歯磨きセットの配布。	全て	男女	16 ～ 74	被保険者	13,469	-	-	-	-
	-	卒煙サポート事業	・禁煙サポート	全て	男女	20 ～ (上限なし)	加入者全員	0	-	-	-	-
	6	電話健康相談窓口	・メンタルヘルスや日常のケガや病気に関わる健康全般の相談体制を整える。	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者全員	3,155	-	-	-	-
体育奨励	2,5	健康ウォーク	・健康づくりや健康意識向上のため。	全て	男女	0 ～ 74	加入者全員	350	-	-	-	-


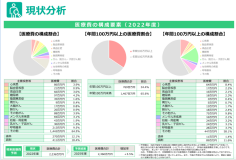
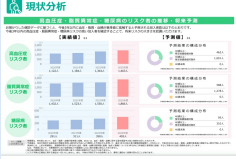



注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業





注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		医療費現状分析	医療費・患者数分析	レセプトより、合計・入院・入院外における、医療費、受診率、日数を集計した表になります。 ハイライトの箇所は、前年度と比較して、医療費、受診率、日数が高い箇所を示しています。
イ		医療費の構成要素	医療費・患者数分析	-
ウ		高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測2022	医療費・患者数分析	健診データに基づく、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触すると予測される加入者数です。 今後3年以内の高血圧症・脂質異常症・糖尿病リスクの高い加入者を確認することで、将来リスクの大きさを把握できます。
エ		主要疾患分析（高血圧・脂質異常症・糖尿病）2022	医療費・患者数分析	-
オ		主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患〔循環器〕）2022	医療費・患者数分析	-
カ		生活習慣分析2022	特定健診分析	質問票の状況（2022年度）

<p>キ</p> 	<p>特定健診受診状況2022</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>-</p>
<p>ク</p> 	<p>特定保健指導の実施状況2022.pdf</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>-</p>
<p>ケ</p> 	<p>課題の優先付け (その1)</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>-</p>
<p>コ</p> 	<p>課題の優先付け (その2)</p>	<p>特定健診分析</p>	<p>-</p>



現状分析

医療費（2022年度）

レセプトより、合計・入院・入院外における、医療費、受診率、日数を集計した表になります。
 ハイライトの箇所は、前年度と比較して、医療費、受診率、日数が高い箇所を示しています。

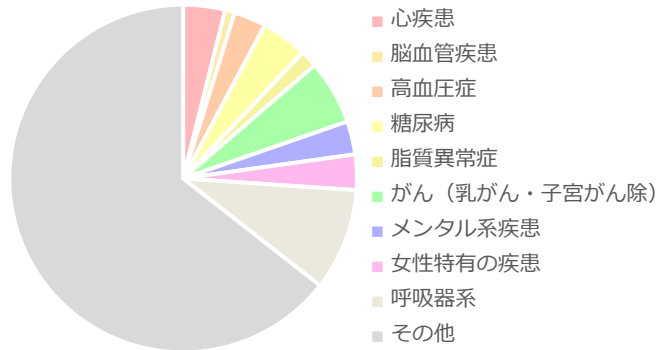
	合計				入院				入院外				
	1人あたり 医療費	受診率 (千人あたり)	1件あたり 日数	1日あたり 医療費	1人あたり 医療費	受診率 (千人あたり)	1件あたり 日数	1日あたり 医療費	1人あたり 医療費	受診率 (千人あたり)	1件あたり 日数	1日あたり 医療費	
総合計	162,214円	10,838.4件	1.4日	10,890円	38,033円	71.6件	8.0日	66,236円	124,180円	10,766.8件	1.3日	8,671円	
全年齢・ 疾患別	高血圧症・ 脂質異常症・糖尿病	14,382円	1,274.8件	-	-	640円	16.0件	-	-	13,743円	1,258.7件	-	-
	悪性新生物	11,892円	244.3件	-	-	4,150円	11.0件	-	-	7,742円	233.3件	-	-
	心疾患・脳血管疾患 (循環器)	7,777円	374.0件	-	-	5,390円	10.5件	-	-	2,387円	363.5件	-	-
	歯科疾患	19,603円	1,591.4件	1.5日	8,301円	310円	1.3件	3.4日	68,931円	19,293円	1,590.1件	1.5日	8,185円
年代別	40歳未満	120,397円	9,551.0件	1.3日	9,357円	26,560円	62.3件	7.5日	57,160円	93,837円	9,488.7件	1.3日	7,566円
	40～59歳	184,297円	10,921.1件	1.4日	12,121円	40,026円	68.7件	8.3日	70,587円	144,271円	10,852.3件	1.3日	9,856円
	60歳以上	312,509円	17,249.8件	1.4日	12,773円	91,418円	128.2件	9.1日	78,665円	221,090円	17,121.6件	1.4日	9,487円
健保平均（2021年度）	158,600円	11,183.1件	1.4日	10,351円	36,111円	70.4件	6.0日	67,926円	122,490円	11,112.7件	1.4日	8,083円	



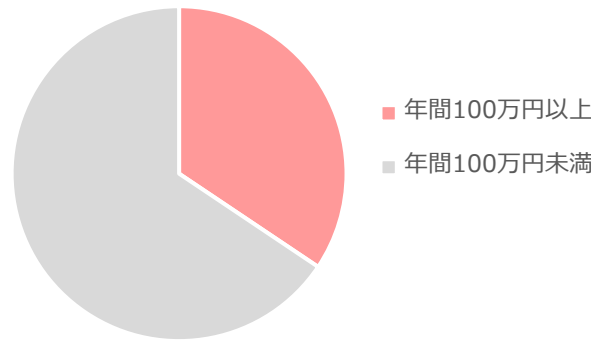
現状分析

医療費の構成要素（2022年度）

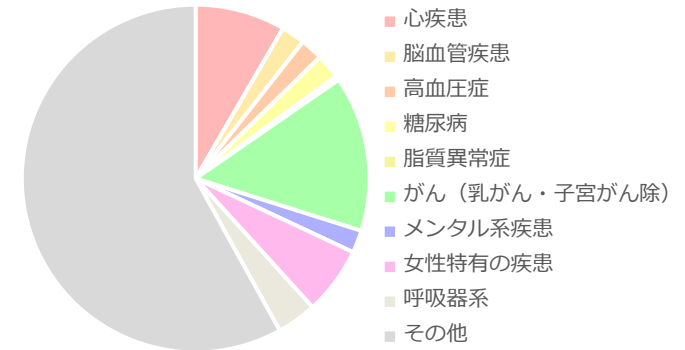
【医療費の構成割合】



【年間100万円以上の医療費割合】



【年間100万円以上の構成割合】



主要疾患等	医療費	割合
心疾患	86百万円	3.9%
脳血管疾患	21百万円	0.9%
高血圧症	66百万円	3.0%
糖尿病	97百万円	4.3%
脂質異常症	35百万円	1.6%
胃がん	9百万円	0.4%
大腸がん	17百万円	0.8%
肺がん	20百万円	0.9%
その他がん	88百万円	3.9%
メンタル系疾患	69百万円	3.1%
妊娠・周産期	43百万円	1.9%
乳がん・子宮がん	30百万円	1.3%
呼吸器系	213百万円	9.5%
その他	1,442百万円	64.5%
歯科	270百万円	12.1%
調剤	411百万円	18.4%

	医療費合計	割合
年間100万円以上	769百万円	34.4%
年間100万円未満	1,467百万円	65.6%

主要疾患等	医療費	割合
心疾患	64百万円	8.4%
脳血管疾患	17百万円	2.2%
高血圧症	16百万円	2.1%
糖尿病	18百万円	2.3%
脂質異常症	3百万円	0.4%
胃がん	5百万円	0.7%
大腸がん	13百万円	1.7%
肺がん	18百万円	2.4%
その他がん	75百万円	9.8%
メンタル系疾患	16百万円	2.1%
妊娠・周産期	24百万円	3.2%
乳がん・子宮がん	24百万円	3.1%
呼吸器系	28百万円	3.7%
その他	447百万円	58.1%
歯科	11百万円	1.4%
調剤	89百万円	11.6%

将来医療費予測	現状	医療費合計	予測結果	医療費合計	増加率
	2022年度	2,236百万円		2025年度	2,360百万円

○予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデル*を用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果・レセプトデータをもとに、3年後の総医療費を予測したものです。
 *当予測と、本レポートP.6の各リスクの将来予測の予測手法は異なります。
 なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
 ○予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。



現状分析

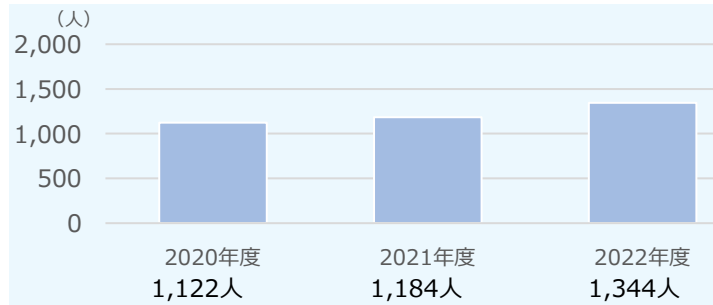
高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測

お預かりした健診データに基づくと、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触すると予測される加入者数は以下のとおりです。今後3年以内の高血圧症・脂質異常症・糖尿病リスクの高い加入者を確認することで、将来リスクの大きさを把握いただけます。

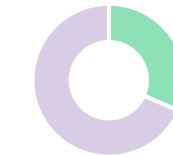
【実績値】 ※1

【予測値】 ※1

高血圧症 リスク者



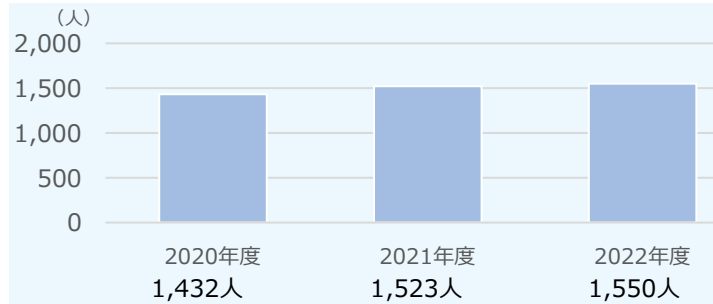
予測結果の構成分布



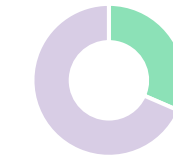
40歳以上・特定保健指導対象	462人
40歳以上・特定保健指導対象外	1,001人
40歳未満	0人

予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

脂質異常症 リスク者



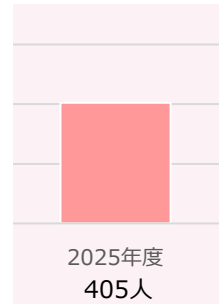
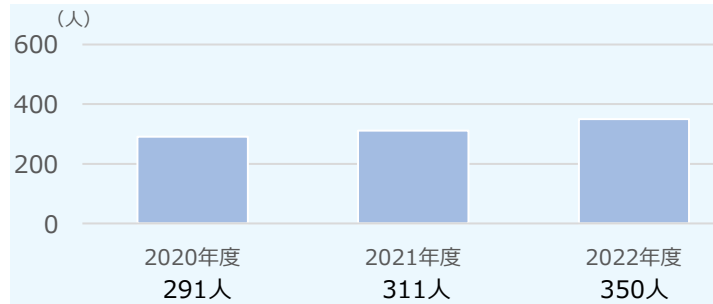
予測結果の構成分布



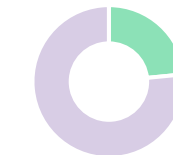
40歳以上・特定保健指導対象	588人
40歳以上・特定保健指導対象外	1,278人
40歳未満	0人

予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

糖尿病 リスク者



予測結果の構成分布



40歳以上・特定保健指導対象	95人
40歳以上・特定保健指導対象外	310人
40歳未満	0人

予測結果の構成分布は、「実績値」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

※1 ご留意
いただきたい点

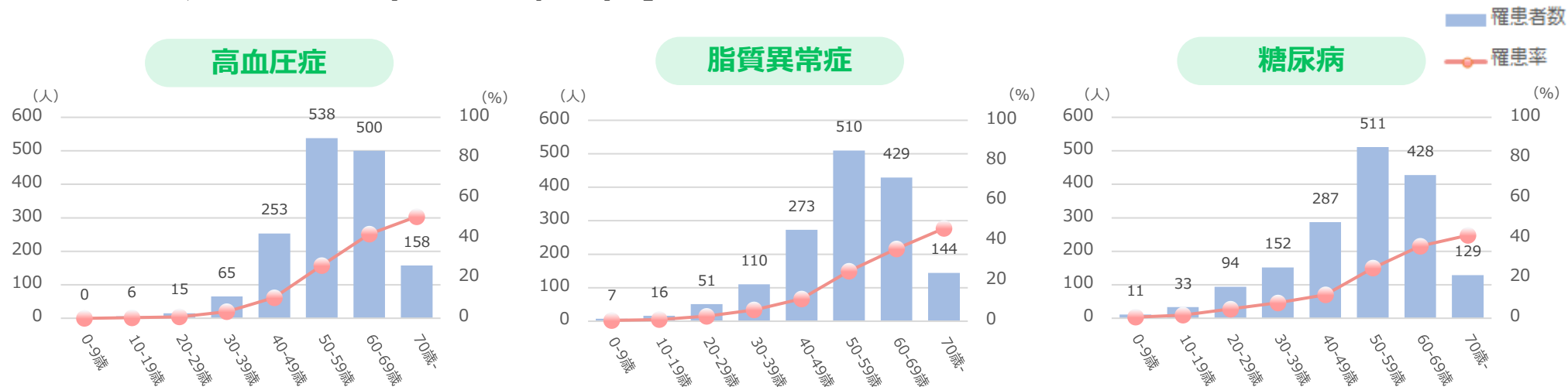
- 実績値は、各年度において、血圧・脂質・血糖が基準値に抵触、あるいは、血圧・脂質・血糖に関する薬を服薬中の加入者数を合計したものです。
- 予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデルを用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果データをもとに、今後3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触する人数を予測したものです。具体的には、上記の実績値と、実績値年度から3年以内に血圧・脂質・血糖が基準値に抵触（血圧と脂質については3年以内に2年連続で基準値に抵触）すると予測される加入者数を合計しています。
- なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
- 加入者の健康状態に対して、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
- リスク予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。



現状分析

主要疾患分析（高血圧・脂質異常症・糖尿病）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2022年度）】



【リスク分析】

	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	796人 13.5%	836人 14.1%	944人 15.7%	20.1%
リスク中	615人 10.4%	563人 9.5%	691人 11.5%	17.0%
リスク低	1,797人 30.5%	1,975人 33.3%	1,924人 32.1%	63.0%
健診未受診 治療歴あり	638人 10.8%	640人 10.8%	616人 10.3%	-

	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	1,180人 20.0%	1,237人 20.9%	1,241人 20.7%	34.2%
リスク中	933人 15.8%	990人 16.7%	1,066人 17.8%	29.8%
リスク低	1,095人 18.6%	1,147人 19.4%	1,252人 20.9%	36.0%
健診未受診 治療歴あり	592人 10.0%	575人 9.7%	567人 9.4%	-

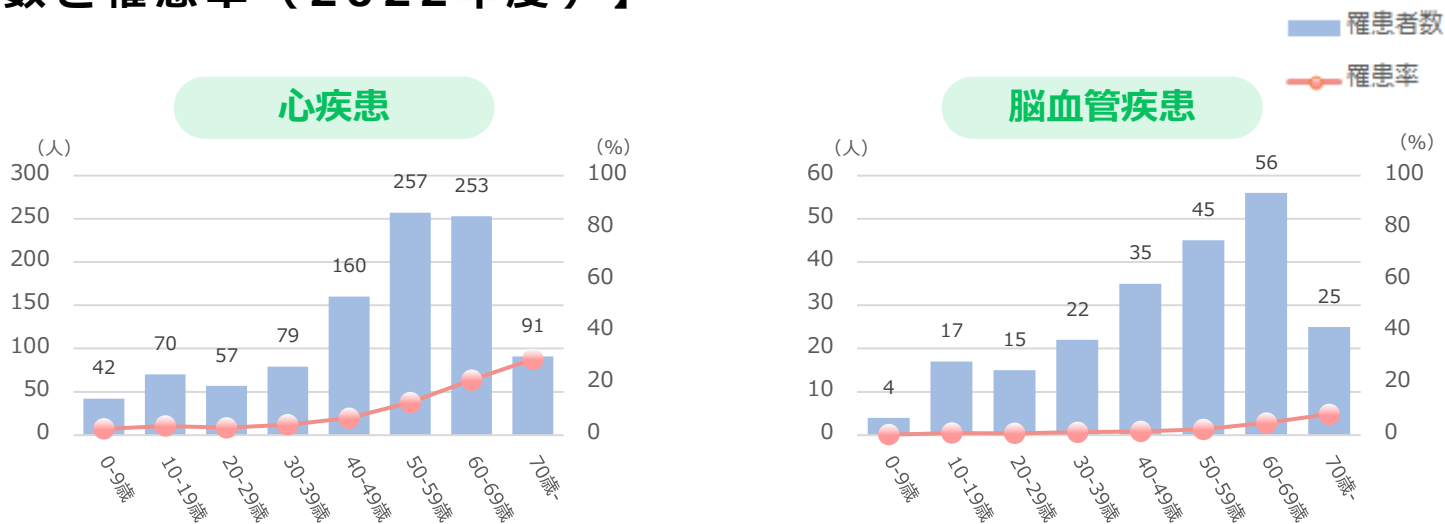
	2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
リスク高	206人 3.5%	220人 3.7%	226人 3.8%	5.6%
リスク中	900人 15.3%	918人 15.5%	1,051人 17.5%	27.7%
リスク低	2,100人 35.6%	2,232人 37.7%	2,279人 38.0%	66.7%
健診未受診 治療歴あり	583人 9.9%	623人 10.5%	612人 10.2%	-



現状分析

主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患〔循環器〕）

【年齢別の罹患者数と罹患率（2022年度）】



【リスク分析】

	2020年度	2021年度	2022年度
高血圧症のリスク高	796人 13.5%	836人 14.1%	944人 15.7%
脂質異常症のリスク高	1,180人 20.0%	1,237人 20.9%	1,241人 20.7%
糖尿病のリスク高	206人 3.5%	220人 3.7%	226人 3.8%
喫煙	1,254人 21.3%	1,282人 21.6%	1,328人 22.1%
上記4項目全てに該当	18人 0.3%	15人 0.3%	17人 0.3%

「健康日本21（第2次）」（厚生労働省）によると、脳血管疾患と心疾患を含む循環器疾患は、がんと並んで日本人の主要死因の大きな一角を占めており、循環器疾患の予防は基本的には危険因子の管理で、確立した危険因子としては、高血圧・脂質異常症・喫煙・糖尿病の4つ、とあります。

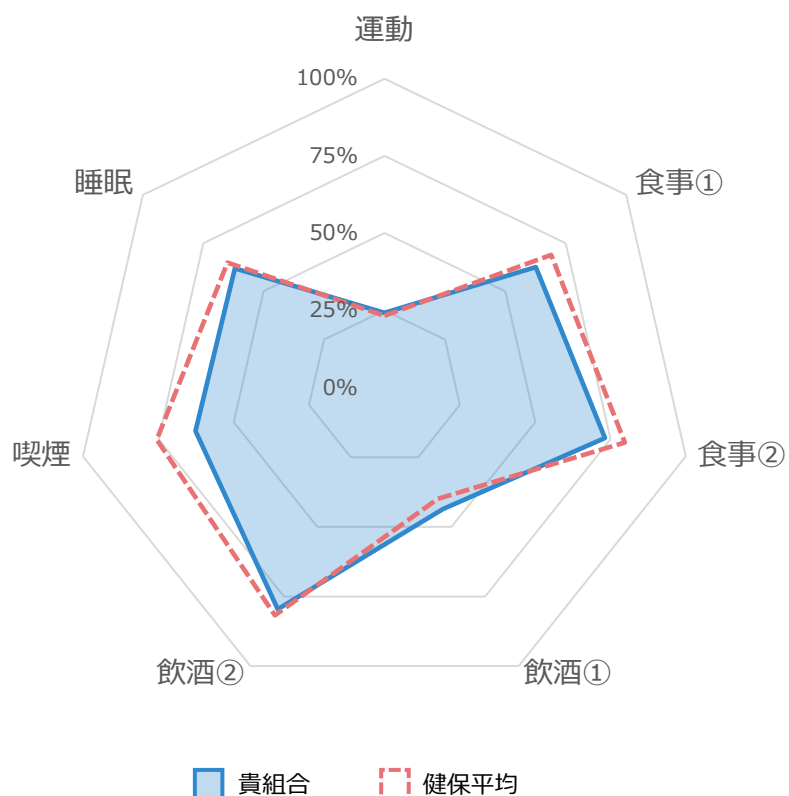
「健康日本21（第2次）」では各因子について目標を定めていますが、ここでは、高血圧症・脂質異常症・糖尿病におけるリスクの状況、及び喫煙の状況について左記表のとおり集計しています。



現状分析

生活習慣分析

【質問票の状況（2022年度）】



※レーダーチャートの図形は大きいほど良い状態

		2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	23.8%	23.7%	24.2%	23.3%
食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回未満	63.1%	63.6%	62.6%	68.9%
食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	75.3%	74.6%	73.1%	79.7%
飲酒①	飲酒をほとんどしない	41.9%	43.0%	43.6%	39.9%
飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	78.6%	80.4%	79.5%	81.7%
喫煙	現時点で喫煙習慣がない	60.9%	62.0%	62.7%	75.5%
睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	64.9%	63.8%	61.9%	64.9%

※健保平均より数値が小さい場合にハイライトしています



現状分析

健診受診状況

【定期健診（40歳未満）受診状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
対象者数	3,251人	3,242人	3,230人
受診者数	-	-	-
受診率	-	-	-
受診率（健保平均）	68.8%	68.8%	-

【リスク階層（2022年度）】

		保健指導 判定基準該当※	受診勧奨 判定基準該当※	治療歴あり
40 歳 未 満	腹囲	-	-	-
	血圧	-	-	86人
	脂質	-	-	184人
	血糖	-	-	290人
	肝機能	-	-	333人
	腎機能	-	-	29人

【特定健診（40歳以上）受診状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
対象者数	5,892人	5,925人	6,002人
受診者数	3,208人	3,374人	3,559人
受診率	54.4%	56.9%	59.3%
受診率（健保平均）	77.9%	80.5%	-

40 歳 以 上	腹囲	1,561人	-	-
	血圧	481人	586人	1,449人
	脂質	820人	985人	1,356人
	血糖	763人	57人	1,355人
	肝機能	673人	382人	810人
	腎機能	100人	2人	120人

※「リスク階層」の判定基準

項目		保健指導判定基準	受診勧奨判定基準
腹囲	男性	≥85cm	-
	女性	≥90cm	-
血圧	収縮期血圧	≥130mmHg	≥140mmHg
	拡張期血圧	≥85mmHg	≥90mmHg
脂質	中性脂肪	≥150mg	≥300mg/dl
	HDL	≤39mg/dl	≤34mg/dl
	LDL	≥120mg/dl	≥140mg/dl
	Non-HDL	≥150mg/dl	≥170mg/dl

項目		保健指導判定基準	受診勧奨判定基準
血糖	空腹時血糖	≥100mg/dl	≥126mg/dl
	HbA1c	≥5.6%	≥6.5%
	随時血糖	≥100mg/dl	≥126mg/dl
肝機能	AST(GOT)	≥31U/L	≥51U/L
	ALT(GPT)	≥31U/L	≥51U/L
	Γ-GT(γ-gtp)	≥51U/L	≥101U/L
腎機能	eGFR	<60ml/分/1.73m ²	<45ml/分/1.73m ²

左記基準を用いて、健診結果からリスク階層を判別しています。

加入者の健康状態に対して、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。

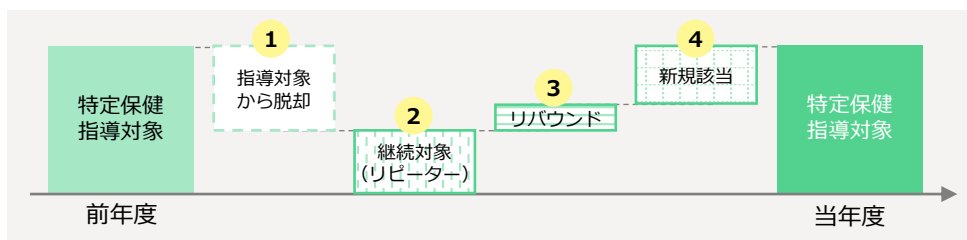
参照：「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)



現状分析

特定保健指導の実施状況

<特定保健指導対象の考え方>



保険者共通の評価指標

アウトプット指標

アウトカム指標

【特定保健指導実施状況】

	2020年度	2021年度	2022年度
健診受診者数	3,208人	3,374人	3,559人
指導対象者数	801人	819人	908人
対象者割合	25.0%	24.3%	25.5%
実施者数	97人	62人	70人
実施率	12.1%	7.6%	7.7%
実施率 (健保平均)	27.0%	31.1%	-

【1 指導対象からの脱却状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
脱却者数	274人	282人	258人
改善脱却	126人	130人	94人
脱却率	46.0%	46.1%	36.4%
服薬治療	57人	54人	69人
その他	91人	98人	95人

【2 継続対象者（リピーター）の状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
1年で改善脱却	84人	68人	56人
継続対象者数	507人	519人	561人
2年継続	156人	159人	157人
3年継続	-	91人	114人
4年継続	-	-	67人
5年以上継続	-	-	217人

【3 リバウンド状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
リバウンド者数	37人	68人	86人
1年後にリバウンド	37人	57人	63人
2年後にリバウンド	-	11人	16人
3年後にリバウンド	-	-	7人

【4 指導対象への新規該当状況】

	2019年→2020年	2020年→2021年	2021年→2022年
新規該当者数	231人	199人	219人
40歳到達同時	42人	25人	39人
40歳到達済	189人	174人	180人

	BMI/腹囲	血圧/脂質/血糖
35-39歳における基準抵触状況	-	-



アウトプット・アウトカム指標①

課題		課題の優先付けの視点						アウトプット指標	アウトカム指標	
		過年度の推移			3カ年増加率 緊急度	未対応者※4 対応余地	1人あたり医療費※4 医療財政への影響度	目標達成に向けた 具体的な取組	目指すべき目標※5	
		2020年度	2021年度	2022年度						
特定健診	受診者	3,208人 54.4%	3,374人 56.9%	3,559人 59.3%	-	2,443人 40.7%	186,190円	特定健診の受診勧奨の 実施	特定健診受診率の引き上げ 単一健保：81% 共済組合：81% 総合健保等：76.5%	
	医療費	52,675万円 27.0%	60,489万円 28.3%	66,265万円 29.6%		特定健診を 受診していない方				
透析予防治療 の基準該当者 ※1	該当者	59人 1.0%	69人 1.2%	73人 1.2%	+23.7%	14人 19.2%	416,394円	未対応者ゼロへ 糖尿病に関して医療機関 未受診の状態の方をなくす	透析予防治療の 基準該当者を 1人削減	
	医療費	2,638万円 1.4%	2,944万円 1.4%	3,040万円 1.4%	+15.2%	糖尿病に関して 医療機関を 受診していない方				
受診勧奨 の基準該当者 ※2	該当者	1,714人 29.1%	1,818人 30.7%	1,919人 32.0%	+12.0%	1,133人 59.0%	176,763円	未対応者ゼロへ 高血圧症・脂質異常症・糖尿病 に関して医療機関未受診 の状態の方をなくす	受診勧奨の 基準該当者を 319人削減	
	医療費	25,806万円 13.2%	31,686万円 14.8%	33,921万円 15.2%	+31.4%	高血圧症・脂質異常症・ 糖尿病に関して医療機関 を受診していない方				
(40歳未満の予備群を含む) ※3	血圧	該当者	338人 5.7%	314人 5.3%	406人 6.8%	+20.1%	613人 92.6%	213,749円	特定保健指導実施率の 引き上げ 単一健保：30% 共済組合：30% 総合健保等：15% + 特定保健指導の未実施者 やリピーター、 40歳未満の予備群等に 対して個別事業を実施	特定保健指導の 対象者割合の減少 + 40歳未満の 特定保健指導予備群の 減少
		医療費	8,060万円 4.1%	6,442万円 3.0%	9,834万円 4.4%	+22.0%				
	脂質	該当者	473人 8.0%	472人 8.0%	570人 9.5%	+20.5%				
		医療費	10,187万円 5.2%	10,674万円 5.0%	13,316万円 6.0%	+30.7%				
	血糖	該当者	524人 8.9%	557人 9.4%	617人 10.3%	+17.7%				
		医療費	11,567万円 5.9%	12,733万円 6.0%	12,708万円 5.7%	+9.9%				

貴組合における総医療費の3カ年(2020-2022)増加率	+14.8%
全保険者における総医療費の3カ年(2019-2021)増加率	+3.7%

※1：診療報酬点数表の基準に基づき、HbA1c6.5%以上又は内服薬やインスリン製剤を使用していること、かつ糖尿病性腎症第2期以上の方を対象に対象者や医療費を算出しており、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
 ※2：血圧・脂質・血糖のいずれかが「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)における受診勧奨基準に該当する方を対象に対象者や医療費を算出しており、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。
 ※3：特定保健指導の対象者の判定には、脂質の評価項目にLDL-C、Non-HDL-Cは含まれていませんが、本項目では「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」(厚生労働省)における保健指導基準に基づき、LDL-C、Non-HDL-Cを脂質の評価項目に含みます。40歳以上の特定保健指導対象者の状況については、P.9を参照ください。
 ※4：直近年度の実績から算出しています。
 ※5：「透析予防治療の基準該当者」及び「受診勧奨の基準該当者」のアウトカム目標は、医療費の3カ年増加率が貴組合の総医療費の3カ年増加率を上回る場合、各基準該当者の医療費の増加率を総医療費の増加率と同水準まで抑制するために必要な目標水準を記載しています。



アウトプット・アウトカム指標②

課題		課題の優先付けの視点							アウトプット指標	アウトカム指標
		過年度の推移			3カ年増加率	保健指導 判定基準該当者 ※1・※2	要対応者※2	1人あたり 医療費※2・※3		
		2020年度	2021年度	2022年度						
飲酒による リスク者	該当者	378人 6.4%	380人 6.4%	394人 6.6%	+4.2%	131人 33.2%	78人 19.8%	47円 肝硬変発症時の 医療費	要対応者に対して 個別事業を実施	目指すべき目標 要対応者の割合を 男性13%・女性6.4% まで減少
	医療費	4,905万円 2.5%	6,269万円 2.9%	5,366万円 2.4%	+9.4%					
喫煙による リスク者	該当者	1,254人 21.3%	1,282人 21.6%	1,328人 22.1%	+5.9%	458人 34.5%	1,328人 22.1%	1,797円 肺がん発症時の 医療費		
	医療費	15,484万円 7.9%	17,730万円 8.3%	19,249万円 8.6%	+24.3%					
非肥満の 生活習慣病 リスク者	該当者	203人 3.4%	208人 3.5%	212人 3.5%	+4.4%	-	20人 9.4%	6,687円 糖尿病発症時の 医療費	要対応者に対して 個別事業を実施	該当者の割合を 減少
	医療費	2,498万円 1.3%	4,548万円 2.1%	4,236万円 1.9%	+69.6%					

※1：「標準的な健診・保健指導プログラム 平成30年度版」（厚生労働省）における保健指導（血圧・脂質・血糖）の基準のいずれかに該当する方の割合です。

※2：直近年度の実績から算出しています。

※3：1人あたり医療費は、各リスク者の基準に該当する方のうち、表中に記載の疾患を発症している方の1人あたり医療費を算出しています。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	キ	・ 特定健診の受診率が低い。	➔	・ 事業主健診の健診結果の提出依頼。	✓
2	ク	・ 特定保健指導の実施率が低い。	➔	・ 健診当日の初回面談を実施。	✓
3	カ	・ 喫煙率が高い。	➔	・ 卒煙サポート（禁煙補助）の実施により喫煙率を下げる。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業所は東海地方に拠点を置くが大手の事業所数社は全国展開をしている。 ・ 加入員は全国に点在している。 ・ 従業員である被保険者は主にガソリンスタンド勤務である。 ・ 被保険者50名以上の事業所は全体の約1割である。 	➔	・ 契約健診機関の増設。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・ 被扶養者の健診受診率が低い。	➔	・ 40歳以上の女性被扶養者に巡回健診や集合契約の利用促進。
2	・ 特定保健指導の実施率が低い	➔	・ 契約健診機関と健診当日の初回面談実施。
3	・ 禁煙率が高い	➔	・ 卒煙サポートの実施。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・特定健診及び特定保健指導の受診実施動奨。

事業全体の目標

- ・特定健診の受診率及び特定保健指導の実施率の目標値達成。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	機関誌の配布
保健指導宣伝	保健事業案内・パンフレット・リーフレット・冊子の配布
保健指導宣伝	ジェネリックの利用促進
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	柔整療養費通知
保健指導宣伝	健康年齢通知
保健指導宣伝	健康経営コンソーシアム・健康管理委員会等
疾病予防	感染予防対策事業
疾病予防	家庭用常備薬の斡旋
体育奨励	契約保養所・レジャー施設

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定健康診査事業	健保連共同情報処理事業
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	データヘルス関連事業
保健指導宣伝	コラボヘルス
保健指導宣伝	インセンティブ事業
保健指導宣伝	卒煙サポート事業
疾病予防	全国巡回レディース健診
疾病予防	ICT関連事業
疾病予防	人間ドック
疾病予防	成人病健診
疾病予防	共同巡回健診・全国巡回健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	つよい子キャンペーン
疾病予防	重症化予防等事業
疾病予防	歯科衛生キャンペーン
疾病予防	電話健康相談窓口
体育奨励	健康ウォーク

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画													
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度								
アウトプット指標												アウトカム指標														
職場環境の整備																										
加入者への意識づけ																										
保健指導宣伝	2,5	既存	ホームページ	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	シ	-	・情報発信	423	-	-	-	-	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	法改正や健診の保健事業等をはじめ、加入者に組合事業の理解意識づけを向上させる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	更新回数(【実績値】12回 【目標値】令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-												加入員へ意識づけのため。(アウトカムは設定されていません)													
	2,5,6	既存	機関誌の配布	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	・年2回(4月と10月)被保険者全員と加入事業所へ配布。	シ	-	・情報発信	4,979	-	-	-	-	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	健診をはじめ、加入者に組合の保健事業等の理解意識づけを向上させる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
配布回数(【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-												加入員へ意識づけのため。(アウトカムは設定されていません)														
5	既存	保健事業案内・パンフレット・リーフレット・冊子の配布	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	シ	-	・情報発信	1,426	-	-	-	-	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・情報発信	・加入者に理解しやすいものを配布。 ・機関誌の配布時にリーフレット等健診や健康保険組合の事業を周知させる。 ・4月に保健事業案内冊子を配布。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
	部数(【実績値】5部 【目標値】令和6年度：6部 令和7年度：6部 令和8年度：6部 令和9年度：6部 令和10年度：6部 令和11年度：6部)-												加入員へ意識づけのため。(アウトカムは設定されていません)													
	2,7	既存	ジェネリックの利用促進	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	シ	-	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	1,133	-	-	-	-	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・ジェネリック使用率の向上。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
使用割合(【実績値】70.9% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)毎年12月診療分を調査対象。(対象月変更あり)												加入者へのジェネリックへの認識や意識づけであり事業成果を求めないから。(アウトカムは設定されていません)														
2	既存	医療費通知	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス	-	シ	-	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	1,500	-	-	-	-	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	・隔月6回事業所経由で世帯分を被保険者に配布。	・医療費適正化や医療保険制度に対する認識を深める。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
	配布回数(【実績値】6回 【目標値】令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)-												医療費適正化に伴う加入者への意識づけであり事業成果を求めないから。(アウトカムは設定されていません)													
	2	新規	柔整療養費通知	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	1	ス	-	シ	-	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	354	-	-	-	-	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・情報発信 ・最安値ジェネリックと実際使用した薬との差額が条件以上の対象者に差額通知を送付。	・医療費適正化や医療保険制度に対する認識を深める。 ・不正請求の防止。	該当なし
施術日数(【実績値】15,514日 【目標値】令和6年度：15,000日 令和7年度：14,500日 令和8年度：14,000日 令和9年度：13,500日 令和10年度：13,000日 令和11年度：12,500日)-												柔整費適正化に伴う加入者への意識づけであり、事業成果を求めないから。(アウトカムは設定されていません)														
												2,599														

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
	2	既存	健康年齢通知	全て	男女	40〜(上限なし)	基準該当者	1	ス	-			・健診結果や医療費情報などから算出した健康年齢通知を送付。	・健診結果や医療費情報などから算出した健康年齢通知を送付。	・健診結果や医療費情報などから算出した健康年齢通知を送付。	・健診結果や医療費情報などから算出した健康年齢通知を送付。	・健診結果や医療費情報などから算出した健康年齢通知を送付。	・健診結果や医療費情報などから算出した健康年齢通知を送付。	・生活習慣改善の行動変容	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
実年齢差(【実績値】0.2歳 【目標値】令和6年度:0.3歳 令和7年度:0.35歳 令和8年度:0.4歳 令和9年度:0.45歳 令和10年度:0.5歳 令和11年度:0.6歳)												該当者への意識づけのため。(アウトカムは設定されていません)								
	2,5	既存	健康経営コンソーシアム・健康管理委員会等	全て	男女	16〜(上限なし)	被保険者	1	ス	-			・事業主や担当者向けに健康に関する教育。	・事業主や担当者向けに健康に関する教育。	・事業主や担当者向けに健康に関する教育。	・事業主や担当者向けに健康に関する教育。	・事業主や担当者向けに健康に関する教育。	・事業主や担当者向けに健康に関する教育。	事業主等の健康に関する意識づけや行動変容。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
参加人数(【実績値】13人 【目標値】令和6年度:15人 令和7年度:18人 令和8年度:21人 令和9年度:24人 令和10年度:27人 令和11年度:30人)												事業主や担当者への意識づけや行動変容のため。(アウトカムは設定されていません)								
疾病予防	2	既存	感染予防対策事業	全て	男女	16〜(上限なし)	被保険者	1	ス	-			手指消毒液やマスクを事業所に配布。	手指消毒液やマスクを事業所に配布。	手指消毒液やマスクを事業所に配布。	手指消毒液やマスクを事業所に配布。	手指消毒液やマスクを事業所に配布。	手指消毒液やマスクを事業所に配布。	手指消毒液やマスクを事業所に配布に季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の対策。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	実施回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:1回 令和7年度:1回 令和8年度:1回 令和9年度:1回 令和10年度:1回 令和11年度:1回)												加入員への意識づけのため。(アウトカムは設定されていません)							
	8	既存	家庭用常備薬の斡旋	全て	男女	16〜74	加入者全員	1	ス	-			・事業所にパンフレットを配布。 ・斡旋補助はない。	・事業所にパンフレットを配布。 ・斡旋補助はない。	・事業所にパンフレットを配布。 ・斡旋補助はない。	・事業所にパンフレットを配布。 ・斡旋補助はない。	・事業所にパンフレットを配布。 ・斡旋補助はない。	・事業所にパンフレットを配布。 ・斡旋補助はない。	健康管理の意識づけと医療費削減。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
利用者数(【実績値】50人 【目標値】令和6年度:-人 令和7年度:-人 令和8年度:-人 令和9年度:-人 令和10年度:-人 令和11年度:-人)												加入者への意識づけであり事業成果を求めないから。(アウトカムは設定されていません)								
体育奨励	5,8	既存	契約保養所・レジャー施設	全て	男女	0〜74	加入者全員	1	ス	-			法人価格で利用。	法人価格で利用。	法人価格で利用。	法人価格で利用。	法人価格で利用。	法人価格で利用。	健康づくりや保養のため。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	広報回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:2回 令和7年度:2回 令和8年度:2回 令和9年度:2回 令和10年度:2回 令和11年度:2回)												事業成果を求めないため。(アウトカムは設定されていません)							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40〜74	基準該当者	1	イ	-			・契約健診機関で受診。 ・集合契約機関で受診。	・契約健診機関で受診。 ・集合契約機関で受診。	・契約健診機関で受診。 ・集合契約機関で受診。	・契約健診機関で受診。 ・集合契約機関で受診。	・契約健診機関で受診。 ・集合契約機関で受診。	・契約健診機関で受診。 ・集合契約機関で受診。	健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	・特定健診の受診率が低い。
	受診者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:1,650人 令和7年度:1,670人 令和8年度:1,690人 令和9年度:1,710人 令和10年度:1,730人 令和11年度:1,750人)												特定健診受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:71% 令和7年度:75% 令和8年度:79% 令和9年度:82% 令和10年度:84% 令和11年度:85%)							
	8	既存	健保連共同情報処理事業	全て	男女	40〜74	その他	1	ス	-			-	-	-	-	-	-	-	特定検査項目の結果データ入力管理。
集合契約利用者数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:-人 令和7年度:-人 令和8年度:-人 令和9年度:-人 令和10年度:-人 令和11年度:-人)												国への実績報告のために利用している健保連共同情報処理システムの維持管理事業のため。(アウトカムは設定されていません)								
													4,254	-	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	コ	・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	ア,イ,ウ,シ		・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	・契約健診機関で実施。 ・集合契約機関で実施。 ・事業委託先にて実施。	・実施率向上により特定保健指導の対象者を減らす。 ・契約健診機関と健診当日の保健指導契約を実施する。 ・コラボヘルス事業への取り組み。	・特定保健指導の実施率が低い。	
																					実施者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：173人 令和7年度：236人 令和8年度：306人 令和9年度：378人 令和10年度：451人 令和11年度：498人)-
保健指導宣伝	1	新規	データヘルス関連事業	全て	男女	0～(上限なし)	その他	1	エ,ク	-	シ	-	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。	・健診データとレセプトデータ、適用データから現況を把握し、健康課題を抽出し、事業を見直すための分析事業。 ・ICTを活用した情報提供の取り組み。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
1	既存	コラボヘルス	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,エ,キ,ク,コ,サ	-	ア,イ,ウ	-	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	・喫煙率の高い事業所への禁煙促進。 ・特定保健指導の実施率向上。	健康管理の意識づけと医療費削減。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
																					健康宣言事業参加数(【実績値】 12件 【目標値】 令和6年度：15件 令和7年度：18件 令和8年度：20件 令和9年度：24件 令和10年度：28件 令和11年度：35件)-
2,5	新規	インセンティブ事業	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ア,エ	-	シ	-	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	・特定保健指導の達成者と健康ウォーキング参加者へのポイントを付与。	特定保健指導の実施率を上げる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
																					PepUp登録件数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：800人 令和7年度：850人 令和8年度：900人 令和9年度：950人 令和10年度：1,000人 令和11年度：1,050人)-
2,5	新規	卒煙サポート事業	全て	男女	20～74	被保険者,被扶養者	1	ス	-	シ	-	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	・けんぽだよりに同封して案内周知。 ・アプリを利用して専門職によるオンライン指導。	被保険者の喫煙率を30%未満にする。	・喫煙率が高い。	
																					参加申込者(【実績値】 20人 【目標値】 令和6年度：25人 令和7年度：30人 令和8年度：35人 令和9年度：40人 令和10年度：45人 令和11年度：50人)-
疾病予防	3	新規	全国巡回レディース健診	全て	女性	40～74	被扶養者	1	イ	-	シ	-	・40歳以上の女性被扶養者に自己負担金1000円で特定健診を受診できる。	・40歳以上の女性被扶養者に自己負担金1000円で特定健診を受診できる。	・40歳以上の女性被扶養者に自己負担金1000円で特定健診を受診できる。	・40歳以上の女性被扶養者に自己負担金1000円で特定健診を受診できる。	・40歳以上の女性被扶養者に自己負担金1000円で特定健診を受診できる。	・40歳以上の女性被扶養者に自己負担金1000円で特定健診を受診できる。	被扶養者の健診受診率の向上。	・特定健診の受診率が低い。	
																					参加人数(【実績値】 150人 【目標値】 令和6年度：160人 令和7年度：170人 令和8年度：180人 令和9年度：190人 令和10年度：200人 令和11年度：210人)-
2,5	新規	ICT関連事業	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	3	ア,エ	-	シ	-	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・医療費通知、健診結果、健康情報の発信。	・ICTを活用した情報提供により、生活習慣の改善や健康づくりへの意識改革。 ・PepUpの登録率向上。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
																					PepUp登録件数(【実績値】 790件 【目標値】 令和6年度：800件 令和7年度：850件 令和8年度：900件 令和9年度：950件 令和10年度：1,000件 令和11年度：1,050件)-
												26,100									

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	・契約健診機関で受診。	シ	-	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	組合全体の健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	・特定健診の受診率が低い。	
受診者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,700人 令和7年度：1,750人 令和8年度：1,800人 令和9年度：1,850人 令和10年度：1,900人 令和11年度：1,950人)-												特定健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：71% 令和7年度：75% 令和8年度：79% 令和9年度：82% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)-								
3	既存	成人病健診	全て	男女	30～74	基準該当者	1	イ	-	シ	-	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	契約健診機関等で受診。	組合全体の健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	・特定健診の受診率が低い。	
受診者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：980人 令和7年度：1,000人 令和8年度：1,020人 令和9年度：1,040人 令和10年度：1,060人 令和11年度：1,080人)-												特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：71% 令和7年度：75% 令和8年度：79% 令和9年度：82% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)-								
3,5	既存	共同巡回健診・全国巡回健診	全て	女性	40～74	基準該当者	1	イ,ク	-	ウ	-	・あまの創健と共同事業として実施。 ・40歳以上の女性被保険者被扶養者に通知。	・あまの創健と共同事業として実施。 ・40歳以上の女性被保険者被扶養者に通知。	・あまの創健と共同事業として実施。 ・40歳以上の女性被保険者被扶養者に通知。	・あまの創健と共同事業として実施。 ・40歳以上の女性被保険者被扶養者に通知。	・あまの創健と共同事業として実施。 ・40歳以上の女性被保険者被扶養者に通知。	・あまの創健と共同事業として実施。 ・40歳以上の女性被保険者被扶養者に通知。	健診受診率の向上と生活習慣病の予防と改善。	・特定健診の受診率が低い。 ・特定保健指導の実施率が低い。	
参加者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：280人 令和7年度：290人 令和8年度：300人 令和9年度：310人 令和10年度：320人 令和11年度：330人)-												特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：71% 令和7年度：75% 令和8年度：79% 令和9年度：82% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)-								
8	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	インフルエンザ予防接種者に上限2000円の補助。	インフルエンザ予防接種者に上限2000円の補助。	インフルエンザ予防接種者に上限2000円の補助。	インフルエンザ予防接種者に上限2000円の補助。	インフルエンザ予防接種者に上限2000円の補助。	インフルエンザ予防接種者に上限2000円の補助。	インフルエンザの予防及び医療費の削減。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
接種者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2,000人 令和7年度：2,030人 令和8年度：2,060人 令和9年度：2,090人 令和10年度：2,110人 令和11年度：2,150人)-												インフルエンザの医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：5,000千円 令和7年度：4,800千円 令和8年度：4,600千円 令和9年度：4,400千円 令和10年度：4,200千円 令和11年度：4,000千円)10～翌年3月のインフルエンザの医療費								
2,5	既存	つよい子キャンペーン	全て	男女	2～6	基準該当者	1	ク	-	シ	-	2～6歳の未就学児を対象に手洗いうがい歯磨きの習慣付け。	2～6歳の未就学児を対象に手洗いうがい歯磨きの習慣付け。	2～6歳の未就学児を対象に手洗いうがい歯磨きの習慣付け。	2～6歳の未就学児を対象に手洗いうがい歯磨きの習慣付け。	2～6歳の未就学児を対象に手洗いうがい歯磨きの習慣付け。	2～6歳の未就学児を対象に手洗いうがい歯磨きの習慣付け。	季節流行の蔓延予防と医療費削減。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
参加者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80人 令和7年度：90人 令和8年度：100人 令和9年度：110人 令和10年度：120人 令和11年度：130人)「つよい子キャンペーン」：2～6歳の未就学児を対象。												達成者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：55% 令和8年度：60% 令和9年度：65% 令和10年度：70% 令和11年度：80%)-								
4	新規	重症化予防等事業	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	1	ク	-	シ	-	・高リスク保有者に対し医療機関への受診勧奨。	・高リスク保有者に対し医療機関への受診勧奨。	・高リスク保有者に対し医療機関への受診勧奨。	・高リスク保有者に対し医療機関への受診勧奨。	・高リスク保有者に対し医療機関への受診勧奨。	・高リスク保有者に対し医療機関への受診勧奨。	・健診受診へのきっかけを与える。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
受診勧奨対象者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：500人 令和7年度：480人 令和8年度：460人 令和9年度：440人 令和10年度：420人 令和11年度：400人)-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：19% 令和8年度：18% 令和9年度：17% 令和10年度：16% 令和11年度：15%)-								
2,5	既存	歯科衛生士キャンペーン	全て	男女	16～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	歯磨きセットの配布。	歯磨きセットの配布。	歯磨きセットの配布。	歯磨きセットの配布。	歯磨きセットの配布。	歯磨きセットの配布。	医療費削減と健康管理の意識づけ。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
一人当たり歯科医療費【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,500円 令和7年度：1,450円 令和8年度：1,400円 令和9年度：1,350円 令和10年度：1,300円 令和11年度：1,250円)-												加入者への意識づけ、習慣付け。(アウトカムは設定されていません)								
2	新規	電話健康相談窓口	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	機関誌やHPで案内。	機関誌やHPで案内。	機関誌やHPで案内。	機関誌やHPで案内。	機関誌やHPで案内。	機関誌やHPで案内。	精神疾患と乳幼児の医療費削減。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
相談件数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：60人 令和7年度：70人 令和8年度：80人 令和9年度：90人 令和10年度：100人 令和11年度：110人)年間相談件数												加入者の行動変容や意識づけが目的のため。(アウトカムは設定されていません)								
体育奨励	2,5	既存	健康ウォーク	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア	-	シ	-	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催	年2回開催	健康づくりや健康意識向上のため。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	参加者数【実績値】 70人 【目標値】 令和6年度：80人 令和7年度：90人 令和8年度：100人 令和9年度：110人 令和10年度：120人 令和11年度：130人)-												事業成果を求めないため。(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他